



## 後期に向けて

秋分の日を過ぎた頃から少しずつ秋らしくなってきました。私も衣替えを行い、長袖のシャツや秋の服を着始めました。日の入りも早くなり「秋の日はつるべ落とし」と言われていますが、まったくその通りだと感じています。そのため、子どもたちの活動時間も少しずつ早まってきました。明日はいよいよ合唱コンクールです。各学級とも今までの練習の成果を発揮して素晴らしい歌声を披露してほしいと思います。本校に昨年度着任し、最も感動した行事は「合唱コンクール」です。市内でも有数の素晴らしい合唱であることは、胸を張って言えます。今後も、良き伝統を後輩たちに引き継いでほしいと思います。

本校では、前後期の2期制をとっており、この時期は前後期の境目になっています。学校は、生徒たちが日々生活する中で成長を支援する場所です。それは、学習面や生活面などさまざまだと思います。そして、このような時期を区切りとして、良い面や今一步の面を確認して次へつなげていきます。ぜひこの機会を利用して、ご家庭でも前期の振り返りをご一緒にいただければと思います。

すでにご存じの方も多いと思いますが、次年度から中学校も全員給食となります。今後の詳細については『すぐーる』等を通じて、ご家庭へ情報等発信していきます。校内でもその準備を徐々に行っており、2月には食缶を用いた配膳の試行を行います。アレルギー関係で配慮が必要な方や、その他配慮が必要な方は、今後ご相談させていただきます。

家庭と学校と地域が一体となって、生徒の健やかな成長を支援していけたらよいと思います。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 個別支援級

### 収穫の秋



個別支援学級の畑も夏野菜の収穫が終わりに近づいています。今年度は、ジャガイモ、インゲン、ナス、ピーマン、パプリカ、唐辛子を栽培しました。7月には大量のジャガイモを収穫し、ナスは9月、10月にも立派な秋ナスを実らせてくれました。パプリカは色づくまで待つと虫がついてしまうので、緑色のうちに収穫しています。収穫した野菜は調理実習でカレーや肉じゃが、イモ餅を作りました。ピーマンとパプリカ、ナスをウインナーと炒めたものは、生徒に大人気でした。雑草を取って耕した畑に苗を植え、水や肥料やり、支柱を立て、また雑草を取る。畑作りから野菜を収穫し、自分で調理したものを食べる。という工程を経験することで、食について考えが深まったと思います。

個別支援学級の畑は、ここから半年間休ませ、来年度の栽培に備えます。

# 今月の記事

## 専任の部屋

### 「合唱コンクールを控えるみなさんへ」

校舎のあちこちから聞こえてくる歌声に、日々の努力と仲間との絆を感じています。私は生徒指導専任という立場のため、当日は体育館の外からしかその歌声を聴くことができませんが、皆さんの真剣な表情や、声を合わせる姿に、日々心を動かされています。

本番まであと少し。緊張もあるかもしれませんが、これまで積み重ねてきた時間と仲間との思い出が、きっと皆さんの背中を押してくれます。歌声には、心を動かす力があります。どうか、皆さんの「今」を、精一杯届けてください。

なお、今年度より保護者の皆様には、自転車での来校による鑑賞が認められることになりました。ご家庭の皆様にも、ぜひこの機会に、子どもたちの成長と感動の瞬間を共有していただければと思います。

体育館の外から、心を込めて応援しています。

### 「交通ルールの遵守と安全な登下校を目指して」

地域の方々から、生徒の交通マナーに関するご指摘をいただいております。特に、自転車の一時停止無視や並走、歩きスマホなどの危険行為が見られるとのこと。事故防止のためにも、交通ルールを守り、周囲への配慮を忘れずに行動しましょう。地域の信頼は日々の積み重ねです。

**今後の予定**

10月17日(金) 合唱コンクール  
27日(月)~31日(金) 3年進路面談  
11月 6日(木) 子育てサロン  
13日(木)~14日(金) 後期中間テスト

卒業式の日程が2026年3月11日(水)に決定しました。

カウンセラー来校日

10月  
17日(金) 21日(火) 24日(金)  
28日(火) 31日(金)

11月  
4日(火) 7日(金) 11日(火)  
21日(金) 25日(火) 28日(金)

※ 相談室直通 TEL045(802)8905の留守番電話にお名前、連絡先を入れてください。

## 編集後記

ようやく日に日に秋が深まってきました。10月10日(金)に分期式を行い、14日(火)から後期がスタートしています。気持ち新たに、日々の授業を大切に取り組んでいきましょう。

学校HPのQRコード



# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

4月14日に全国の中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。対象教科は「国語」「数学」「理科」に加え「生活意識調査」です。

## ～学力状況調査の結果～

【国語】	平均正答数	平均正答率	中央値
泉が丘中学校	7.3/14	52%	8.0
神奈川県（公立）	7.6/14	55%	8.0
全国（公立）	7.6/14	54.3%	8.0

【数学】	平均正答数	平均正答率	中央値
泉が丘中学校	7.1/15	47%	7.0
神奈川県（公立）	7.6/15	51%	7.0
全国（公立）	7.2/15	48.3%	7.0

【理科公開問題】	平均正答数 【1】	平均正答数 【2】【9】
泉が丘中学校	2.6/6	1.8/4
神奈川県（公立）	3.0/6	2.1/4
全国（公立）	2.9/6	2.0/4

### IRTバンド集計値【理科】

IRT バンド	割合（％）		
	貴校	神奈川県 （公立）	全国 （公立）
5	4.0	6.7	6.2
4	19.0	21.9	20.3
3	40.5	42.3	42.0
2	29.4	25.6	27.3
1	7.1	3.6	4.2

※ 理科の調査結果については、「中学校理科調査結果の見方」をご覧ください。

## ～各教科の分析～

【国語】	【数学】
<p>① 今年度の結果概要</p> <p>全国・神奈川の結果と比較すると、平均値は若干下回っているが、中央値に差はない。今回の結果については、記述問題の平均値が全国・神奈川に上回っている。</p> <p>② 今後の取り組み</p> <p>根拠を明確に考え表現することを、これまで同様続けていく。また情報を整理してまとめ、伝えたいことを明確にし、工夫して表現していく練習をしっかりと行っていく。</p>	<p>① 今年度の結果概要</p> <p>正答率を全国の平均と比較すると、角度や図形の応用問題は上回ったが、割合や図形の証明問題など下回った問題が多かった。また文字式の説明問題も正答率が低い。</p> <p>② 今後の取り組み</p> <p>学習内容の定着を図るために、問題集や小テスト等をくり返し、自分で考えて解くことを続けていく。また説明や証明問題では、自分の言葉で説明する機会を増やしていく。</p>
【理科】	【生活意識調査】
<p>① 今年度の結果概要</p> <p>観点について全国平均との差を比較すると、「思考・判断・表現」は「知識・技能」よりもさらに低い。問題形式について比較すると、記述式は選択式よりもさらに低く、記述式の無回答の割合が高い。以上より、思考や表現が必要な問題に対し課題があると考えられる。</p> <p>② 今後の取り組み</p> <p>今回の調査結果を受けて、今後も日頃の授業において、「知識・技能」をいかにして「思考・判断・表現」する取組を継続することで、自ら基礎を活用して応用できるよう成長を促したい。</p>	<p>① 今年度の結果概要</p> <p>全国・神奈川の平均より高かった項目…○自分にはよいところがある。全国・神奈川の平均より低かった項目…●分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び考え、工夫することはできていますか。</p> <p>② 今後の取り組み</p> <p>授業で出てきた内容や知識を、「知っている」だけで終わらせるだけでなく、各教科で「自分で調べる」「やってみる」ことで理解を深める授業展開をする。また「なぜ、できなかったのか」を自分で考えるような振り返りを行い、より深い学びにつなげていく。</p>

今回の調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。本校では、この調査の結果を真摯に受け止めるとともに、数値のみにとらわれることなく、生徒一人ひとりが成長できるように、引き続き取り組んで参ります。

# 中学校理科 調査結果の見方

今年度、中学校理科において1人1台端末を使用して、全国学力・学習状況調査が実施されました。他の教科と調査結果の示し方が違うので説明します。この調査結果を見ながら、さらに力をつけていくための手が見つけていきましょう。



## 令和7年度全国学力・学習状況調査【中学校】調査結果

学校名	答案番号	調査実施日	組	氏名

理科

IRTバンド

3

全受検者の平均的な理解度

3

※IRTバンドは、1~5の5段階で5が最も高い。

① 受検者の状況（IRTバンドごとの生徒の割合）

■ あなたの結果

●出題内容  
理科では、「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」に関する内容について出題しています。

問題番号 ※1	問題の内容	結果 ※2	全国の 正答率	学習 学年 ※3	学習指導要領の領域※4				評価の観点		問題形式		問題の 難易度 ※5
					1	2	3	4	知識 技能	思考 判断 表現	選択	短答	
	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	○	80.0	1	○				○	○			1
	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	—	70.0	2	○				○	○			2
	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	○	80.0	1				○	○	○			3
	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	—	50.0	2				○	○	○			4
	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	—	40.0	1		○			○	○			5
	水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	—	80.0	2		○			○	○			1
	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や餌付け、その理由を説明する		70.0	1			○		○			○	2
	脊椎動物には骨格のつくりに共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトの関節を選択する		60.0	2			○		○	○			3

これまでの全国学力・学習状況調査は紙で実施しており、全国の中学生全員が同じ問題に取り組んでいました。しかし、今回1人1台端末を使用することで、人によってそれぞれ違う問題を解けるようになりました。全国のみなさんが共通して取り組んだ問題もあれば、調査を受ける日ごとに違う問題も出題されています。



## 調査結果 Q & A



「IRT」って何ですか？

「IRT」とは「項目反応理論」といって、一人一人の問題の正誤状況を活用し、調査に取り組んだ人の学力を測定する方法です。今回の調査では、IRTに基づいて、全国のみなさんがたくさん問題に取り組んだ結果をもとに、より幅広い分野や内容からみなさんの理科の力を測ることができています。



①



「IRTバンド」って何ですか？

「IRTバンド」とは、今回の調査におけるあなたの結果を5段階で示したもので、5が最も高いです。例えば、IRTバンド「3」の人は、「問題の難易度」が「3」の問題を、おおよそ（約80%の確率で）正答することができる力があると推定できます。



②



どんな問題だったかももう一度見ることはできますか。

調査結果に載っている問題は国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。また、全てMEXCBTで取り組むことができます。自分ができた問題や間違えてしまった問題を振り返るために活用してみてください。（※配信の設定は学校が行います。）



③



「結果」に何も書いてない欄がありますがなぜですか？

当日受けた問題は人によって違います。あなたが当日取り組んでいない問題は空欄になっています。



④



「問題の難易度」はどのように決められているのですか？

問題の難易度は、みなさんの問題の正誤状況を踏まえて、「IRTバンド」をわかりやすくするためにつけられた数字です。どの問題もこれまで授業で学んだことを生かして取り組むことができます。「IRTバンド」が「3」の人でも難易度が「4」や「5」の問題に正答できる場合もありますし、難易度が「2」の問題でも間違えてしまうこともあります。今の自分の力を把握したり、さらに力をつけたりするために、この結果や調査問題を活用してください。